



## 平成25年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月12日

上場会社名 ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3657 URL <http://www.poletowin-pitcrew-holdings.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小西 直人  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 山内 城治 TEL 03 (5909) 7911  
四半期報告書提出予定日 平成24年6月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年1月期第1四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第1四半期	2,340	—	406	—	439	—	228	—
24年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年1月期第1四半期 222百万円(—%) 24年1月期第1四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年1月期第1四半期	53	57	51	58
24年1月期第1四半期	—	—	—	—

(注) 当社は、平成24年1月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年1月期第1四半期の数値及び平成25年1月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年1月期第1四半期	5,517	4,414	80.0
24年1月期	5,415	4,353	80.4

(参考) 自己資本 25年1月期第1四半期 4,414百万円 24年1月期 4,353百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年1月期	—	—	0	00	38	00
25年1月期	—	—	—	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	0	00	44	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	4,193	9.8	517	△1.6	517	△6.7	283	△5.1	66	53
通期	9,140	9.3	1,350	5.9	1,340	4.6	766	17.5	180	00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年1月期1Q	4,256,000株	24年1月期	4,256,000株
② 期末自己株式数	25年1月期1Q	一株	24年1月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年1月期1Q	4,256,000株	24年1月期1Q	一株

(注) 1. 平成23年7月13日付で、普通株式1株を20株に分割しております。

2. 当社は、平成24年1月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年1月期第1四半期の期中平均株式数の記載をしておりません。

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況が続いておりますが、各種政策の効果などを背景に、緩やかに持ち直していくことが期待されております。しかしながら、欧州政府債務危機や円高による輸出環境の悪化などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループの主要事業であるデバッグ・検証事業の関連市場においては、新型携帯ゲーム機の普及が進むとともに、年末には据置型新ゲーム機の発売が予定されており、ゲームソフトの拡充が見込まれることから、家庭用ゲーム市場の復調が期待されております。また、携帯電話やスマートフォン（高性能携帯電話）等の端末普及を背景に急成長しているソーシャルゲーム市場は、ソーシャルゲームプラットフォーム会社が積極的に海外展開を進めていることや、大手家庭用ゲームメーカーが本格的に市場に参入し、有力コンテンツが続々と提供されていることから、国内外で一層の市場拡大が予想されております。

一方、ネット看視事業の関連市場であるインターネットビジネス市場においては、個人、法人ともにソーシャルネットの利用が活発化し、誰もが安心・安全にインターネットを利用できるようにするための投稿看視、ユーザーサポート需要が増加しております。特にソーシャルネットゲームは、リリース後の頻繁なアップデートやユーザー対応が不可欠であることから、継続的なデバッグやユーザーサポートの重要性が増しております。また、電子書籍、ネット通販等の E コマースの拡大に伴い、広告審査や出品物の看視、権利侵害調査やユーザー対応等のニーズも拡大しております。さらに、インターネット上でのなりすまし、ポイント稼ぎ等の不適切利用による各種被害は増加傾向にあり、その不正対策も急務となっております。

当社グループにおいては、顧客企業の事業多角化や海外展開、業務プロセスの高度化や複雑化にともない必ず発生する様々な業務に対して「人の手によるサポートサービス」を軸に受注拡大を行うとともに、2月よりグループ主要事業会社の営業、管理部門を一か所に集約し、当社グループ会社間のシナジーを発揮した「ワンストップ・フルサービス」に力を入れております。家庭用ゲームソフトやアミューズメント機器のデバッグ、及び市場拡大が続いているソーシャルゲームのデバッグやユーザーサポートの受注活動に加え、家庭用ゲームソフトやソーシャルゲームソフトの開発会社が海外展開をする際に必要なローカライズ（翻訳）、デバッグ、ユーザーサポート、サーバー看視をワンパッケージで提供する「グローバルナビゲート」サービスの提供を3月より開始いたしました。これにより、これまで取引のなかった企業に対しても、当社グループのサポートサービスの認知が向上し、新規顧客企業からのデバッグやローカライズ業務の受注が増加いたしました。昨年8月に英国ロンドン近郊に設立した Pole To Win America, Inc. の欧州支店 Pole To Win Europe においては、欧州現地スタッフによるサービス提供が可能なスタジオを整備し、海外拠点も含めたグループの総合力を活かした受注活動を推進しております。

この結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は2,340,987千円、営業利益は406,489千円、経常利益は439,293千円、四半期純利益は228,012千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① デバッグ・検証事業

当事業におきましては、ポルトゥウィン株式会社において、アミューズメント機器開発メーカーが新機種投入を積極的に行っており、アミューズメント機器のデバッグ業務の受注は、前連結会計年度より引き続き堅調に推移いたしました。また、ソーシャルゲームのデバッグ業務も増加傾向にあり、新規参入も相次いでいるソーシャルゲームプラットフォーム運営者からのプラットフォーム検証業務、顧客企業の海外進出を背景にローカライズ業務の受注も増加しつつあります。そのため、国内においては、管理者や機材、事業所の整備を進めており、海外においては、英国・ロンドン近郊に設立した Pole To Win America, Inc. の欧州支店 Pole To Win Europe の本格的な業務開始準備が整いました。この結果、デバッグ・検証事業の売上高は1,738,955千円、営業利益は393,503千円となりました。

#### ② ネット看視事業

当事業におきましては、ピットクルー株式会社において、電子書籍やネット通販等の E コマースに関する広告審査業務やユーザーサポート業務、twitter や facebook を利用したプロモーションの運営サポート業務の受注が増加傾向にあります。また、顧客企業のグローバル化に対応し、英語メールサポートを本格稼働しました。設立3年目を迎えたポートサイド株式会社においては、大手広告代理店へ広告審査システムの提供を開始したほか、各種サイト運営者から、不適切な利用手口を分析し、対策を講じるためのビッグデータ解析、データマイニング業務を受託しました。この結果、ネット看視事業の売上高は601,582千円、営業利益は11,047千円となりました。

③ その他

当事業におきましては、株式会社第一書林においては、前連結会計年度より引き続き「シネマテーク動画教室」を開講しており、また、株式会社第一総合研究所においては、新ビジネスの調査、研究等を行っております。売上高は450千円、営業損失は4,304千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて100,221千円(2.0%)増加し、5,022,756千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が87,060千円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて957千円(0.2%)増加し、494,325千円となりました。これは、主に投資有価証券が5,769千円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて101,178千円(1.9%)増加し、5,517,081千円となりました。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて36,496千円(3.6%)増加し、1,064,425千円となりました。これは、主に法人税等の支払いにより未払法人税等が178,064千円減少しましたが、未払金が81,810千円、賞与引当金が43,031千円、預り金(その他)が83,676千円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3,417千円(9.9%)増加し、38,052千円となりました。これは、主に退職給付引当金が3,395千円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて39,913千円(3.8%)増加し、1,102,478千円となりました。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて61,265千円(1.4%)増加し、4,414,603千円となりました。これは、主に利益剰余金が66,284千円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、デバッグ・検証事業については、アミューズメント機器のデバッグ、ソーシャルゲーム関連業務の受注が順調に推移しております。家庭用ゲームメーカーは、年末年始商戦に向けて、開発の繁忙期に向かうため、当社グループにおいても、家庭用ゲームソフトのデバッグ業務受注が増加していく見込みであります。また、Pole To Win America, Inc.の欧州支店Pole To Win Europeでは、5月より約20人体制でローカライズ業務を開始しております。ネット看視事業については、Eコマースに付随する広告審査、不正検知、ユーザーサポート等の業務受注増加が見込まれております。なお、ソーシャルゲーム業界におけるリアル・マネー・トレード(RMT)対策やコンプリートガチャ(コンプガチャ)廃止による当社グループ業務への直接的な影響はないものと予測しており、引き続き、品質向上や健全化のためのデバッグ・検証やネット看視、海外展開のためのローカライズの需要が見込まれております。

売上高、利益とも、当第1四半期連結累計期間まで堅調に推移し、第2四半期連結累計期間以降は、機材購入や増床等の業務拡大費用、海外における業務開始費用等の増加も見込みながら、概ね計画通り推移するものと予測しており、平成24年3月9日に公表した連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (3) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 1 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 4 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,733,555	3,663,116
受取手形及び売掛金	1,062,101	1,149,162
繰延税金資産	55,693	55,693
その他	72,057	157,581
貸倒引当金	△873	△2,797
流動資産合計	4,922,535	5,022,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	83,946	85,088
減価償却累計額	△29,043	△31,551
建物及び構築物 (純額)	54,903	53,537
機械装置及び運搬具	2,275	2,357
減価償却累計額	△1,506	△1,622
機械装置及び運搬具 (純額)	769	735
工具、器具及び備品	154,785	162,658
減価償却累計額	△102,071	△108,915
工具、器具及び備品 (純額)	52,714	53,742
有形固定資産合計	108,387	108,015
無形固定資産		
ソフトウェア	45,772	42,070
その他	2,126	2,126
無形固定資産合計	47,899	44,197
投資その他の資産		
投資有価証券	36,860	42,629
敷金及び保証金	227,315	227,868
繰延税金資産	38,530	37,699
その他	34,375	33,915
投資その他の資産合計	337,081	342,112
固定資産合計	493,367	494,325
資産合計	5,415,903	5,517,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	1,000	—
未払金	509,623	591,433
未払費用	19,905	40,259
未払法人税等	381,965	203,901
賞与引当金	9,381	52,413
その他	106,054	176,418
流動負債合計	1,027,929	1,064,425
固定負債		
退職給付引当金	33,063	36,458
その他	1,571	1,593
固定負債合計	34,634	38,052
負債合計	1,062,564	1,102,478
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	712,400	712,400
資本剰余金	758,854	758,854
利益剰余金	2,887,367	2,953,652
株主資本合計	4,358,622	4,424,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,668	5,077
為替換算調整勘定	△8,952	△15,381
その他の包括利益累計額合計	△5,283	△10,303
純資産合計	4,353,338	4,414,603
負債純資産合計	5,415,903	5,517,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)
売上高	2,340,987
売上原価	1,509,773
売上総利益	831,214
販売費及び一般管理費	424,725
営業利益	406,489
営業外収益	
受取利息	443
為替差益	20,903
助成金収入	10,524
消費税等調整額	569
その他	364
営業外収益合計	32,806
営業外費用	
支払利息	1
営業外費用合計	1
経常利益	439,293
税金等調整前四半期純利益	439,293
法人税等	211,280
少数株主損益調整前四半期純利益	228,012
四半期純利益	228,012

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 2 月 1 日 至 平成24年 4 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	228,012
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,409
為替換算調整勘定	△6,428
その他の包括利益合計	△5,019
四半期包括利益	222,993
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	222,993
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デバッグ・ 検証事業	ネット看視 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,738,955	601,582	2,340,537	450	2,340,987	—	2,340,987
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,322	600	4,922	4,320	9,242	△9,242	—
計	1,743,277	602,182	2,345,460	4,770	2,350,230	△9,242	2,340,987
セグメント利益 又は損失 (△)	393,503	11,047	404,550	△4,304	400,246	6,242	406,489

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に市場調査及び出版・メディア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額7,495千円には、セグメント間取引消去102,834千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△96,591千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。